

特集 卒業生の就活体験記

～先輩たちが歩んだ道、
これから君たちが歩む道～

- 副学長巻頭言
- 担任から卒業生へ／栄えある受賞者
- 看護学科トピックス／医療介護福祉学科トピックス
- 学友会活動
- インフォメーション／公開講座

先輩の道



継灯式



おかやま介護グランプリ



川崎学園祭模擬店



キャンパスショーケース

副学長巻頭言

ICT教育から教育DXに



副学長 新見 明子

1年が過ぎるのは早いもので、「こもれびの校庭」にも暖かな日差しが差し込み紅梅も開花が始まりました。両学科ともに最上級生は国家試験を終え、下級生も後期試験を終えて、学生たちは、つかの間の自由な時間を友人たちとの思い出づくりや新しい環境への準備に励んでいる頃だと思えます。

さて、近年、デジタル技術を駆使して人々の生活をより良いものへ変革していくことを指すデジタルトランスフォーメーション（DX）が様々な分野で推進されています。学生たちの臨地実習先である川崎医科大学附属病院においても、電子カルテシステムの更新をはじめとする医療DXに取り組み、今後は業務の効率化のみならずAI支援の活用や標準化された医療データの利活用など新たな価値を生み出すより高度な医療DXを推進する方針が示されています。また、県内の介護現場でも、柔軟なアウトソーシングの活用とともにICT機器や音声記録入力などを用いた情報共有システムの導入により、業務の効率化を通じた介護の質向上が図られ好循環が生まれている事例が報告されています。このように、学生たちが学び就職する現場はスピード感をもってDXが推進されています。

教育におけるDXは、単なるICT教育の導入にとどまらず、その技術を活用して教育そのものの在り方の変革が求められています。本学においては、2010年度に文部科学省の大学教育推進プログラム「学士力向上のための統合的教育戦略」が採択され、GPAシステム、動画e-ラーニングシステム、e-ポートフォリオの導入を行ったことが現在の教育DXにつながるICT教育の始まりでした。導入時は、教材のデジタル化や動画によるe-ラーニングの作成・活用は緩慢でしたが、システムに慣れるに従って、教材資料作成やアンケート調査、レポート提出などが徐々にデジタル化されていきました。特にCOVID-19パンデミックを機に社会全体のオンライン化が加速したことによって、本学も全学的にオンライン授業の導入と教材資料のデジタル化が進みました。学修成果の向上を目指して新たに学習管理システムを導入したことで、講義の意見聴取、テスト機能やアンケート機能の活用による学習活動の把握と活動評価のフィードバックなどの機能が徐々に活用されるようになり、コミュニケーションツールを用いた双方向的な個別指導が実現しつつあります。また、教育を支える業務管理シ

ステムも更新され、様々なデータがデジタル化されて教務支援の効率化が進んでいます。

さらに、学科独自の取り組みとして、看護学科では2025年度には電子教科書を導入し、2026年度にはクラウド型電子記録システムの導入を進めようとしています。学生の学習状況を教員と共有することでタイムリーな指導が可能になります。この記録は、学生にとっては学びの成長記録であり、ポートフォリオとして就職活動にも役立てることが出来ます。医療介護福祉学科では、学生が近年のデジタルテクノロジーを有効利用してケアの質と業務効率（生産性）の双方を向上させる手法について体験できる機会を持つことを決定しました。このように、両学科ともに教育DXを推し進めています。

以上、本学のICT教育の始まりから教育DXの推進に至る経緯を簡単に述べてきました。本学では、ICT教育から教育DXによりやく足掛かりができた状況ではありますが、教育の質向上のために、教員のICT活用指導力を高め、またセキュリティー対策を十分にとりながら、今後も教職員一丸となって教育DXを推進してまいりたいと思います。



冬の街中に輝くイルミネーション（学生会による設置）

担任から卒業生へ



看護学科 3年担任
三宅 映子

看護学科3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。講義や実習、国家試験に向けた勉強など、皆さんが歩んできた3年間は決して平坦な道ではなく、時には大きな壁にぶつかり、困難を感じることもあったのではないのでしょうか。それでも皆さんは、一つひとつの壁を乗り越え、今日という日を迎えられました。本当によく頑張られましたね。粘り強く学び続けたその姿勢に、心から拍手を送ります。

これからは、看護師としての新たな一歩が始まります。社会に出ると、学生時代にはなかった喜びがある一方で、戸惑いや思いがけない困難に直面することもあるかもしれません。しかし、どんな経験もきっと皆さんの力になります。人生は常に学びと成長の連続です。どうか、謙虚な気持ちと振り返る姿勢をいつまでも大切に歩んでください。

またお会いできる日を楽しみにしています。皆さんのご活躍とご多幸を心よりお祈りしています。



看護学科 3年担任
吉井 一恵

看護学科3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。入学から今日まで、皆さんは多くの学びと経験を積み重ねてこられました。講義や実習、就職活動、そして国家試験と、常に課題と向き合いながら歩みを続けてこられました。皆さんが仲間と支え合い、時に悩みながらも確かな成長を遂げていく姿を1年間担任として見守ることができたことを、心から誇りに思います。

社会に出れば、自分の思い通りにいかない時もあると思います。しかし、卒業までに培った経験は、必ず皆さんの力となり、背中を押してくれるはずです。医療を取り巻く環境は変化を続けていますが、皆さんの温かさや専門性、そして患者さんに向き合う誠実さは、皆さんを支える力となることでしょう。どうか自分らしさを大切にしながら、周囲の人にも寄り添える看護職として歩んでください。皆さんの未来が輝き続けることを心より願っています。



医療介護福祉学科 3年担任
熊谷 佳余子

医療介護福祉学科12期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。1年と3年の担任として、皆さんの成長を見守れたことを心から嬉しく思います。学園祭では、1年次に仮装パフォーマンス、2年次には雨の中でフロートの販売を行いました。3年次には介護フェスや介護グランプリへの参加など、いずれも素敵な思い出になったことでしょう。

3年間、実習での利用者さんや指導者さんとの出会いや、学内外の先生方からの学びを通して、多くの経験を積んできました。どうか今の介護観を大切に育て続けてください。皆さんならきっと温かい介護を届けられると信じています。

4月からは社会人として、多職種間の連携が皆さんの力をさらに伸ばしてくれるでしょう。皆さんが利用者さん、患者さんのことを一番に考えられる介護福祉士として活躍されることを期待しています。卒業後も学び続け、日々アップデートしていきましょう。皆さんの笑顔を中心に応援しています。

栄えある 受賞者

令和7年度卒業証書・学位記授与式は3月14日に挙行政され、「学業成績及び品行等が優秀で、他の学生の模範とするに足る者」と認められた学生に『学長賞』と『学科長賞』が贈られます。

学長賞



看護学科
西岡 愛佳



医療介護福祉学科
廣川 絆

学科長賞



看護学科
花井 美紀



医療介護福祉学科
早水 理乃

年間キラリ賞表彰

年間キラリ賞は、大学生活のこの一年、医療福祉人として勉学にも社会活動にもキラリと頑張りを見せた学生に贈られます。



看護学科
西岡 愛佳



看護学科
渡部 成美



看護学科
大森 帆乃華



医療介護福祉学科
山下 優衣

学生表彰

日本私立
看護系大学協会
会長表彰



看護学科
渡部 成美

岡山県看護協会
優秀学生表彰



看護学科
堀 有里亜

日本介護福祉士
養成施設協会
会長表彰



医療介護福祉学科
藤本 紗英

特集

卒業生の就活体験記

～先輩たちが歩んだ道、これから君たちが歩む道～

卒業を控えた看護学科と医療介護福祉学科の3年次生を対象に、就職活動に関する本紙独自のアンケート調査を行いました。看護学科71人、医療介護福祉学科7人の回答から見てきた本学学生のリアルな意見をまとめました。先輩たちの経験が、後輩の就職活動にも生かされることを望みます。

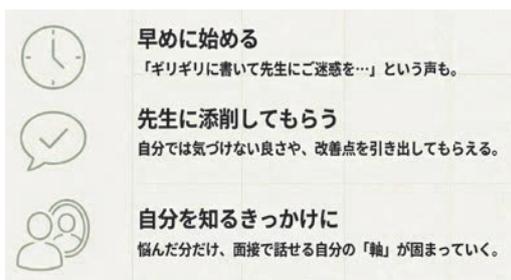
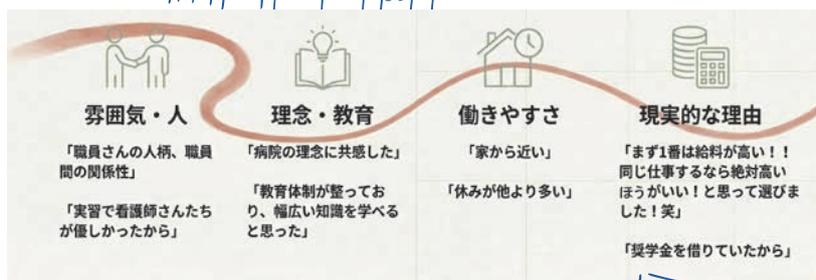


第1章 準備編

～すべてはここから始まる～

多くの選択肢から、なぜその病院や施設を選んだのか？

看護学科では、病院の理念、雰囲気、教育体制、給与、家からの距離など、様々な理由が見られました。医療介護福祉学科では、雰囲気や環境を挙げる学生が多くを占めました。大事なのは、自分が何を一番大切にしたいかを知ることでしょう。ホームページやパンフレットだけでは雰囲気や環境は分かりません。自分の目で見て、肌で感じることで、後悔しないための最高の情報収集であることは両学科に共通していました。



履歴書とエントリーシート：最大の難関は、自分と向き合うこと

多くの先輩が大変だと感じた履歴書やエントリーシートの準備は、自分自身を知る大切なプロセスでもあり、「なぜこの病院や施設を選んだかを整理するためにも自己分析が必要だ」との意見がありました。ChatGPTなどを使って自分の思いをまとめた人もいたようです。テクノロジーをうまく活用する一方で、自己分析の核となる部分を外部ツールに依存することのリスクにも配慮すべきでしょう。



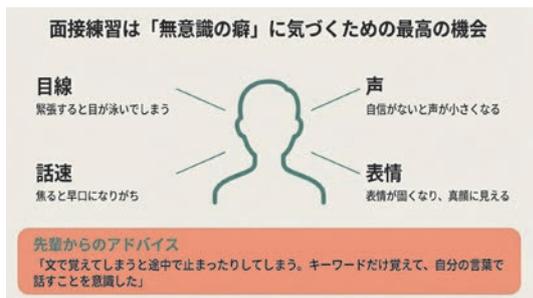
面接練習と小論文：練習は無意識の癖に気づく機会、自信は繰り返した先にある

面接対策では、練習を通じて自身の癖を客観的に把握することの重要性を認識していました。過去の先輩方の就活報告書や面接記録などの情報源を活用して、病院や施設ごとの傾向を知り、的を絞った準備を進めていました。

小論文対策は、過去問を解くこと、反復練習、先生による添削でした。繰り返し書くことで構成や表現を身体に覚えさせることが有効です。先輩方の資料を参考にすれば、事前にある程度の型や盛り込むべきエピソードを準備することができます。一方、専攻科に進学する学生からは、「知識がないと書けない」「過去問から17本の小論文を作成した」という声もあり、専門分野では幅広い知識の事前習得が必須でした。



面接練習（医療介護福祉学科）



先輩たちの「就活お役立ちツール&心の支え」



面接練習（看護学科）

【実用編】頼れる相棒たち

- ・面接用ノート
「聞かれそうな質問と答えの要点をまとめた」
- ・手帳・アプリ
「スケジュールはアプリや手帳にまとめた」
- ・替えのストッキング
- ・歩きやすいパンプス

【精神的支え編】心のお守り

- ・お守り
- ・友達からの応援メッセージ
- ・好きな音楽
Mrs. GREEN APPLE「ケセラセラ」
Snow Man「イチバンボン」や「君入るる応援歌」
RADWIMPS「おしゃがしゃま」
back number「幕が上がると」や「大不正解」
GrE4N BOYZ「進」など



「スマホの待ち受け画面を大好きな愛犬の写真にしていた。いつもその存在で安心できたし、自分の芯をしっかりと持てた」

第2章 本番編

～いざ、決戦の舞台へ～

看護学科の多くの学生が受験する川崎学園は集団面接試験です。他の病院や医療介護福祉学科では、個人面接試験が多い傾向がありました。履き慣れない靴でトラブルが起こったり、交通機関の乱れで焦った人もいたようです。余裕を持って行動しましょう。

面接官の「目」の先にあるもの

看護学科



面接官は4～5名で、8名の病院も。集団面接、複数回の面接もあり。時に鋭い状況設定質問も。

先輩の声
「集団面接で、『この5人で旅行に行くならどんな役割を担いますか』と聞かれて焦った」「知識よりも『その場で考える力』と『人柄』が見られている」

医療介護福祉学科



面接官は2～3名。個人面接が多く、和やかな雰囲気進む傾向。

先輩の声
「深呼吸して落ち着いて答えてください」と落ち着く時間をとってくれたり、リラックスしながら取り組めた」

「よし！」と思った瞬間と、「しまった！」の瞬間

✓ 手応えを感じた瞬間

- ・最初の挨拶がはきはきとできた時。
- ・面接官が笑顔でうなずいてくれた時。
- ・練習した質問に、自信を持って答えられた時。

！ ヒヤリとした瞬間

- ・予期せぬ質問で、頭が真っ白になった。
- ・小論文のテーマが準備していたものと異なったり、完璧を目指さず、「練習した内容と似た要素で書こう」と考えて乗り切った。
- ・緊張で、用意していた言葉が出てこなかった。

ヒヤリ！ハッと！試験当日の「焦った」エピソード集

「パンプスに慣れてなくて靴擦れ。試験が終わった瞬間、靴擦れが痛い、と…」

「頭が真っ白になって、志望動機を忘れてしまったが、何とか終わらせた」

「『とても大きい病院で働こうと思ったらとてもでかくて』と書いてしまった」

「バスが渋滞に巻き込まれて到着が20分遅れた。だいぶ早めのバスに乗っていたので間に合った」

それでも、どうにかなる。

第3章 成長編

～就活を通して得たもの～

就活を通じて自分を見つめ直し、様々な経験をすることで、成長を感じた学生が多かったです。もっと早くやっておけばよかったこととして、病院の情報収集、自己分析、履歴書・小論文の下書き、面接練習が挙げられました。最後に、先輩から後輩へのメッセージを示します。



就活で「成長したかも」と思えたこと

看護学科

専門性とコミュニケーション能力



先輩の声
「自分の看護観が明確になり、それを人前で堂々と話せるようになった」

医療介護福祉学科

自己理解と表現力



先輩の声
「自分を知る良いきっかけになった。自分の思いを、自分の言葉で伝えられるようになってきた」

これから就活を迎える君へ

「周りが決まっても焦らず、自分のペースを大切にすることが一番だと思います」

「早めの行動が、自分の自信と精神的な安定につながります。春休みにどれだけ取り組めるかが鍵です」

「失敗しても『ご縁がなかった』と切り替えて。あなたを必要としてくれる場所は必ずあります」

看護学科トピックス

継灯式



10月25日（土）に、看護学科2年次生88名の継灯式が行われました。お招きした保護者の方々には、式典の様子を別室にてライブ中継でご覧いただきました。継灯の儀では、ナイチンゲール像からの灯を代表学生2名が受け継ぎ、その灯を学生一人ひとりのキャンドルに移していきました。最後にナイチンゲール誓詞を全員で唱和しました。新見 明子副学長からは、「本学の伝統あるナーシングスピリットを受け継ぎ、臨地実習ではケアの概念を忘れず患者さんに寄り添ってほしい」との祝辞をいただきました。

川崎医科大学総合医療センターHCUで活躍する43期卒業生の伊藤 優輝さんからは、「実習では看護の技術や知識だけでなく、患者さんの人となりに目を向け、看護の根底にあるべき人を思う力を養ってほしい」と後輩たちへの激励の言葉をいただきました。最後に、学生代表の戸井 美穂さんから感謝の言葉と真摯に実習に臨むという決意が述べられました。学生たちは終始緊張の面持ちでしたが、12月から始まる基礎看護学実習Ⅱを前に、看護の道を歩む決意を新たにしていました。

（看護学科 糸島 弘和）



医療介護福祉学科トピックス

第10回 おかやま介護グランプリ

11月4日（火）に、きらめきプラザにおいて第10回おかやま介護グランプリ（主催：一般社団法人岡山県介護福祉士会）の本選が開催されました。このグランプリは、岡山県内の介護職員と介護を学ぶ学生が優れた介護技術を競う大会です（予選：動画審査、本選：会場での対面審査）。医療介護福祉学科では3年次生から5チームが出場し、5チームすべてが予選を通過、そのうち1チームが学生部門の優勝を果たしました。

当日は、事前に示された入浴後の衣類の着脱、整容などのケアの課題事例を10分間のストーリーに組み立てて披露し、そのアピールポイントを2分間で発表しました。5チームそれぞれが利用者様主体の尊厳ある介護を考え、審査員と見学者からの注目が集まる緊張した雰囲気の中、自分たちの介護を披露することができました。

グランプリへの参加を通して、利用者様の疾患や障害に応じた個別性のある自立支援や安全安楽について考えることができたと思います。同じ課題でもチームごとに大切にしたいことが違い、支援の多様性についても考える機会となりました。

（医療介護福祉学科 居村 貴子）



学友会活動

学友会では
大学行事の企画運営や
地域ボランティア活動などを
行っています。



後期
主な活動

9月21日(日)、12月21日(日)、2月15日(日)	ピカピカボランティア (天満屋主催 近隣清掃活動)
10月17日(金)～19日(日)	川崎学園祭
11月22日(土)～1月24日(土)	イルミネーション
12月1日(月)	岡山県警察 歳末特別警戒出発式
12月20日(土)	クリスマス会 キャンパスカミングデイ
1月13日(火)	岡山県警察 学生防犯ボランティア連絡会「おにたいじ」総会・フォーラム
1月16日(金)	岡山県警察 受験期の痴漢対策の啓発活動

ピカピカボランティア

近隣の清掃活動に参加しました。地域ボランティア担当学生を中心に3～5名で、学校行事のない時にはできる限りの参加を目指しており、今年度後期は3回参加しました。

9月21日(日)、12月21日(日)、2月15日(日)



イルミネーション

校舎棟・こもれびの校庭および高齢者医療センター周辺にイルミネーションライトを設置しました。高齢者医療センターに入院中の患者さんにも楽しんでいただけるよう、入院病棟に對面する校舎棟学生ラウンジの窓にはハートや星型等のイルミネーションライトを設置しました。



11月22日(土)～1月24日(土)

川崎学園祭

10月17日(金)～19日(日)

医科大学、医療福祉大学、リハビリテーション学院と協同して、学園祭の企画・運営を行いました。今年度は学友会からの出店等はありませんでしたが、学友会メンバー全員が学園祭実行委員会の様々なパートの役割を担い活躍しました。



クリスマス会

12月20日(土)

クリスマス会を開催し、事前応募の学生たちと会食やゲームで盛り上がりました。学年を超えた交流に加え、同日開催のキャンパスカミングデイに参加した来春の新入生へ、メッセージ付きチョコをプレゼント。一足早い『先輩』としての交流も楽しみ、心温まるひと時となりました。



岡山県警察 歳末特別警戒出発式参加 および広報啓発チラシ配布

12月1日(月)

岡山芸術創造劇場ハレノワ「小劇場」で開催された歳末特別警戒出発式に参加後、表町で注意喚起の広報啓発チラシを配布しました。活動終了後には伊原木岡山県知事から「意識が高く頼もしい」とのお言葉をいただきました。



新委員長挨拶

皆さん、こんにちは。学友会委員長を務めることになりました平 優海です。皆さんがより充実した学校生活を過ごせるよう、全員が楽しんでいただける行事を企画・運営していきたいと考えています。特に今年は、学園祭やクリスマス会のさらなる活性化を目標に掲げています。昨年以上に多くの方に参加していただける行事を目指して、学友会メンバー一同、心を込めて準備を進めてまいります。至らない点も多々あると思いますが、精一杯頑張りますので、1年間よろしくお願いたします。

(2026年度学友会委員長 看護学科1年 平 優海)



▲学友会新委員長 平 優海さん



▲学友会新役員

第6回「11月11日介護の日 岡山」川柳受賞の報告

岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会主催の「『11月11日 介護の日 岡山』川柳『小さな幸せ』」において、応募総数1,438句の中から医療介護福祉学科3年の廣川 絆さん、同1年の立花 雅さんと黒瀬賢人さんの作品が入選し、11月16日(日)の表彰式に列席しました。



中高生の参加も
お待ちしております!

2025/11/1(土)

2025年度 第2回公開講座

11月1日(土)に、本学大講義室にて2025年度第2回公開講座を開催しました。地域の方々61名にご参加いただき、看護学科の小淵 京子講師が「ストレスを知って上手に付き合おう!」という講演を行いました。

講演では、ストレスの仕組みや心身への影響について解説し、ストレスの悪い面だけでなく、成長の原動力にもなることを説明しました。次いで、チェックシートで自身の状態を振り返った後、アロマハンドトリートメントや呼吸法など、手軽にできるリラクゼーションを体験していただきました。和やかな雰囲気の中、参加者の皆様も熱心実践されていました。「ストレスを前向きに捉え直すきっかけになった」との声もいただき、自分らしく健やかに過ごすための学びを提供できたと思います。(看護学科 河畑 匡法)



2026年度 公開講座

第1回【医療介護福祉学科】

講座名: **食の楽しみは生きる喜び**
～「楽しく食べる」をチームで支える 介護福祉士×作業療法士×管理栄養士～

講師: 常久 謙太郎 (川崎リハビリテーション学院 作業療法学科 教授)
河邊 聡子 (川崎医療福祉大学 臨床栄養学科 講師)
居村 貴子 (川崎医療福祉大学 医療介護福祉学科 講師)

日時: 7月4日(土) 10:00～11:30
会場: 本学3階 302講義室

第2回【看護学科】

講座名: **知っておきたい!薬との上手なつきあい方** 一薬を安全に安心して使うために

講師: 監物 英男 (川崎医科大学総合医療センター 薬剤部 部長)

日時: 11月7日(土) 10:00～11:30
会場: 本学1階大講義室

●申込方法等は本学ホームページでお知らせします。

岡山キャンパス「七夕健康まつり2026」(仮称)

医療福祉の仕事を知って、健康や将来の職業について考えてみませんか?

日時: 7月4日(土) 12:00～16:00(予定)

場所: 川崎学園岡山キャンパス(岡山市北区中山下)

●講演会、病院の仕事紹介、病院探検ツアー、超音波検査体験、職業体験、体力測定・健康チェック、フレイル予防・健康体操、介護相談、キッチンカーなど、大人から小中高生まで楽しめる盛りだくさんの企画を検討中!

●詳細は、近日ホームページで公開予定!



主要行事(4月～8月)

4月
1日 新入生オリエンテーション(～7日)
3日 入学式
7日 防災訓練
8日 授業開始/看護学科3年臨地実習開始(～9/18)
11日 川崎学園入学時合同研修
25日 オープンキャンパス

5月
7日 医療介護福祉学科3年病院実習(～6/9)
9日 看護学科1年学外研修
16日 スポーツ大会
23日 いってみよ!病院見学・職業体験ツアー
30日 医療介護福祉学科2年実習開始式

6月
1日 学園創立記念日
2日 医療介護福祉学科2年介護実習I-3開始(～6/19)
13日 オープンキャンパス
24日 医療介護福祉学科1年介護実習I-1開始(～7/17)

7月
4日 七夕健康まつり/第1回公開講座(医療介護福祉学科)
18日 3校合同オープンキャンパス
31日 前期定期試験(～8/10)

8月
12日 夏期休業(～9/23)
20日 チャレンジセミナー(医療介護福祉学科)
22日 オープンキャンパス

OPEN CAMPUS 2026

2026年オープンキャンパス/放課後キャンパスツアー 開催スケジュール

オープンキャンパス

●川崎医療短期大学オープンキャンパス

(受付:本学(岡山キャンパス)にて)

開催日時
4月25日(土) 13:00～16:00
5月23日(土) 9:30～14:00
6月13日(土) 13:00～16:00
8月22日(土) 13:00～16:00

●合同オープンキャンパス

(受付:川崎医療福祉大学(倉敷キャンパス)にて)

川崎医療短期大学・
川崎医療福祉大学・
川崎リハビリテーション学院

合同開催

開催日時
3月22日(日) 9:30～15:00
7月18日(土) 9:30～16:00
10月17日(土) 9:00～15:00
10月18日(日) 9:00～13:30

学園祭同時開催/キャンパスショーケース

- ◆体験・模擬講義、入試概要説明、入試相談など、豊富なコンテンツ!
- ◆参加された方に記念グッズなどプレゼント!

合同オープンキャンパスは・・・

- ◆当日JR中庄駅から往復無料バス運行
- ◆駐車場あり

オープンキャンパスが事前申込制になる場合がありますので、事前にホームページ等でご確認ください。

- ※5/23(土)は病院見学・職業体験ツアーを実施
- ※「大学体験型」イベントも実施します!!

いってみよ! 放課後キャンパスツアー

お一人でも、友達と一緒にでも!気軽に放課後にちょっと寄り道してみませんか。スタッフが校舎内をご案内します。

開催日時	4/20(日)、5/18(日)、5/27(日)、6/10(水)、6/24(水)、7/8(水)、7/22(水)、7/29(水)、8/19(水)、8/26(水)、9/9(水)、10/28(水)、11/11(水)、11/25(水)	16:00～17:00 17:00～18:00
	9/16(水)、9/30(水)、10/7(水)、10/21(水)、11/4(水)、11/18(水)	16:30～18:00

(川崎医科大学総合医療センターの見学もあります)

◆ご希望の開催日3日前までに本学ホームページからご予約ください。

川崎医療短期大学学報

「若さいのち」(118号)

2026年3月発行

編集発行: 広報誌等作成ワーキンググループ

熊野 一郎 (看護学科・責任者)
見尾 久美恵 (看護学科)
横田 純子 (医療介護福祉学科)
雪吉 由美 (事務室・書記)

写真協力: 二葉写真館

編集: 友野印刷株式会社

皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒700-0821 岡山市北区中山下二丁目1番70号

TEL 086-201-5333 (代表)

Eメール: kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ <https://j.kawasaki-m.ac.jp>

編集後記

「若さいのち」第118号が完成いたしました。今回の特集は、卒業生へのアンケート回答に基づくものです。寄せられた多くの思いを漏らさず読み解くため、AIの力も借りながら分析し、就活を通じて飛躍を遂げた学生たちの成長物語として構成しました。先輩たちの軌跡が、後輩たちの道しるべとなることを願っています。

松尾芭蕉の俳諧の精神を表す言葉に「不易流行」があります。決して変わることはない本質(不易)と、絶えず移ろいゆく新しさ(流行)は、本来一体のものであるという考え方です。この双方を見据えた芭蕉の慧眼は、これからの医療福祉を担う学生たちや、その育成に携わる我々にも通じるものがあります。医療福祉の基本理念や知見を継承していくためには、新しい流れを適切に取り込み、時代ごとの環境やニーズの変化に応じて進歩し続けなければなりません。本紙が、そして本学を築き上げた学生たちが、新技術や変化を恐れず、進化し続ける存在であることを願ってやみません。末筆ながら、本号に玉稿を賜りました副学長をはじめとする皆様

に厚く御礼申し上げます。
(看護学科 見尾 久美恵)